

# 2020年2月期 第3四半期 決算補足資料

2019年12月27日

ADASTRIA  
—  
*Play fashion!*

# 目次

---

## I. 2020年2月期 第3四半期業績

・ 連結損益計算書	3
・ アダストリア単体	5
・ 海外事業	6
・ 連結貸借対照表	7
・ 店舗数	8
・ 2020年2月期 通期連結業績予想	9
・ アダストリア単体 通期業績予想	10

## II. 営業報告

・ WEB事業	12
・ 国内事業	13
・ 海外事業	14
・ サステナブル経営へのチャレンジ	15

# I. 2020年2月期 第3四半期業績

---



# 連結損益計算書

(百万円)

	2019/2期 第3四半期				2020/2期 第3四半期					
	9ヶ月累計		3ヶ月		9ヶ月累計			3ヶ月		
		構成比		構成比		構成比	前年同期比		構成比	前年同期比
売上高	162,345	100.0%	57,339	100.0%	164,280	100.0%	101.2%	55,299	100.0%	96.4%
アダストリア単体	142,305	-	51,179	-	146,495	-	102.9%	49,423	-	96.6%
国内子会社 *1	11,135	-	2,967	-	10,780	-	96.8%	3,535	-	119.1%
海外子会社 *2	11,376	-	4,128	-	9,466	-	83.2%	3,267	-	79.1%
売上総利益	89,749	55.3%	33,100	57.7%	93,805	57.1%	104.5%	32,544	58.9%	98.3%
販管費	84,048	51.8%	27,929	48.7%	81,834	49.8%	97.4%	27,738	50.2%	99.3%
広告宣伝費	6,299	3.9%	2,317	4.0%	6,066	3.7%	96.3%	2,284	4.1%	98.6%
人件費	29,329	18.1%	9,748	17.0%	29,363	17.9%	100.1%	9,819	17.8%	100.7%
設備費	32,504	20.0%	11,047	19.3%	30,823	18.8%	94.8%	10,411	18.8%	94.2%
のれん償却費	1,229	0.8%	57	0.1%	127	0.1%	10.4%	39	0.1%	68.9%
その他	14,685	9.0%	4,758	8.3%	15,453	9.4%	105.2%	5,183	9.4%	108.9%
営業利益	5,700	3.5%	5,171	9.0%	11,970	7.3%	210.0%	4,805	8.7%	92.9%
アダストリア単体	5,893	-	4,588	-	11,293	-	191.6%	4,708	-	102.6%
国内子会社 *1	▲ 435	-	73	-	415	-	-	94	-	128.2%
海外子会社 *2	▲ 1,267	-	▲ 217	-	▲ 508	-	-	▲ 189	-	-
アダストリア・ロジスティクス	575	-	187	-	559	-	97.2%	149	-	80.0%
経常利益	5,832	3.6%	5,232	9.1%	11,871	7.2%	203.5%	4,884	8.8%	93.3%
純利益	3,081	1.9%	3,636	6.3%	6,908	4.2%	224.2%	2,498	4.5%	68.7%
EBITDA	11,787	7.3%	6,892	12.0%	17,133	10.4%	145.3%	6,576	11.9%	95.4%
減価償却費	4,857	3.0%	1,663	2.9%	5,035	3.1%	103.7%	1,731	3.1%	104.1%
のれん償却費	1,229	0.8%	57	0.1%	127	0.1%	10.4%	39	0.1%	68.9%

\*1：(株)BUZZWIT (旧(株)アリシア)・(株)エレメントルール・(株)ADASTRIA eat Creationsの単純合算  
\*2：海外法人(香港・中国・台湾・韓国・米国)の単純合算

<連結損益計算書>

次ページのサマリーをご参照ください。

# 連結損益計算書（第3四半期3ヶ月）

## ■ 売上高：552億円（前年同期比96.4%）

- ・ 単体：一部天候不順の影響があったものの、ニコアンド・ローリーズファーム・ベイフロア・ページボーイなどが堅調
- ・ 国内子会社：BUZZWIT社が好調を維持
- ・ 海外子会社：香港・中国は前期の不採算店舗閉鎖の影響で減収

## ■ 売上総利益率：58.9%（前年同期比+1.2p）

- ・ 値入率の改善、及び「適時・適価・適量」の徹底で値引き率が改善

## ■ 販管費率：50.2%（前年同期比+1.5p）

- ・ 広告宣伝費：4.1%（同 +0.1p）減収により比率がやや上昇
- ・ 人件費：17.8%（同 +0.8p）賃金が微増
- ・ 設備費：18.8%（同▲0.5p）店舗数の前年同期比減少
- ・ その他：9.4%（同 +1.1p）システムライセンスフィーの増加など

## ■ 営業利益：48億円（前年同期比92.9%）

- ・ 営業利益率8.7%（同▲0.3p）、EBITDAマージン11.9%（同▲0.1p）

## ■ 純利益：24億円（前年同期比68.7%）

- ・ ソフトウェアの減損損失15億円などを計上

### <連結損益計算書>

ここでは主に第3四半期3か月の業績についてご説明します。

当第3四半期の連結売上高は、前年同期比96.4%となる552億円でした。

アダストリア単体では、一部天候不順の影響があったものの、ニコアンド、ローリーズファーム、ベイフロア、ページボーイなどが堅調に推移しました。

国内子会社では、BUZZWIT社が好調を維持しております。  
海外子会社では、香港・中国が前期の不採算店舗閉鎖の影響で減収となりました。

売上総利益率は、58.9%と前年同期比+1.2Pとなりました。  
原価コントロールによる値入率の改善や、お客様の購買意欲を高める商品を「適時・適価・適量」で提供することを徹底したことで、値引き率が改善しました。

販管費率は、50.2%と前年同期比+1.5Pとなりました。  
広告宣伝費率は、減収により比率がやや上昇しました。  
人件費率は、賃金の微増により+0.8Pとなりました。  
設備費率は、店舗数の前年同期比減少により、▲0.5Pとなりました。  
その他販管費率は、システムライセンスフィーの増加などにより、+1.1Pとなりました。

結果として、営業利益は前年同期比92.9%となる48億円、営業利益率は8.7%、EBITDAマージンは11.9%となりました。

特別損失として15億円のソフトウェア減損損失などを計上した結果、純利益は24億円となりました。

# アダストリア単体

(百万円)

	2019/2期 第3四半期		2020/2期 第3四半期			
	9ヶ月累計	3ヶ月	9ヶ月累計		3ヶ月	
				前年同期比		前年同期比
売上高	142,305	51,179	146,495	102.9%	49,423	96.6%
（既存店前年比）	98.3%	103.1%	102.4%	-	98.3%	-
グローバルワーク	29,641	10,915	30,599	103.2%	10,712	98.1%
ニョアンド	22,914	7,790	23,703	103.4%	7,972	102.3%
ローリーズファーム	16,109	5,808	17,642	109.5%	5,723	98.5%
スタディオクリップ	17,628	5,745	16,789	95.2%	5,314	92.5%
レプシム	11,070	3,896	10,755	97.2%	3,628	93.1%
売上総利益	77,689	29,280	82,809	106.6%	28,901	98.7%
売上総利益率	54.6%	57.2%	56.5%	+1.9p	58.5%	+1.3p
販管費	71,796	24,692	71,516	99.6%	24,192	98.0%
販管費率	50.5%	48.2%	48.8%	▲ 1.6p	49.0%	+0.8p
営業利益	5,893	4,588	11,293	191.6%	4,708	102.6%
営業利益率	4.1%	9.0%	7.7%	+3.6p	9.5%	+0.6p

出店	62	26	29	10
退店	47	14	30	14
改装	28	9	19	5
期末店舗数	1,303	1,303	1,261	1,261

\* 単体のれん償却費  
 ・ 2019/2期第3四半期9ヶ月累計：1,045百万円、2020/2期第3四半期9ヶ月累計：94百万円  
 ・ 2019/2期第3四半期3ヶ月：41百万円、2020/2期第3四半期3ヶ月：28百万円  
 \* 2018年8月より、旧アリス社社の3ブランドを単体に移管

## ＜アダストリア単体 損益計算書＞

アダストリア単体の損益計算書は、基本的な増減要因の説明が連結損益計算書の説明と重なりますので、説明を割愛させていただきます。

出退店については、当第3四半期の3ヶ月間で10店舗を出店し、14店舗を退店しました。ブランドごとの内訳については、8ページに記載しておりますのでご確認下さい。

# 海外事業

(百万円)

(海外現法単純合算)	2019/2期 第3四半期		2020/2期 第3四半期					
	9ヶ月累計	3ヶ月	9ヶ月累計			3ヶ月		
			前年同期比 (円ベース)	前年同期比 (現地通貨 ベース)	前年同期比 (円ベース)	前年同期比 (現地通貨 ベース)		
売上高	11,376	4,128	9,466	83.2%	84.9%	3,267	79.1%	82.5%
香港	3,967	1,351	2,582	65.1%	65.3%	894	66.2%	68.4%
中国	1,133	339	336	29.7%	31.3%	63	18.5%	20.5%
台湾	1,739	590	1,796	103.3%	107.8%	632	107.1%	113.2%
韓国	925	320	883	95.4%	102.0%	282	88.1%	97.4%
米国	3,610	1,526	3,869	107.2%	107.6%	1,394	91.3%	94.2%
営業利益	▲ 1,267	▲ 217	▲ 508	-	-	▲ 189	-	-
香港	▲ 605	▲ 191	▲ 204	-	-	▲ 63	-	-
中国	▲ 543	▲ 173	▲ 380	-	-	▲ 192	-	-
台湾	89	1	105	118.3%	123.5%	27	1938.0%	1915.5%
韓国	▲ 119	▲ 24	▲ 89	-	-	▲ 38	-	-
米国	▲ 88	171	59	-	-	77	45.1%	46.3%

\*米国のれん償却費：  
 ・2019/2期第3四半期9ヶ月累計：7百万円、2020/2期第3四半期9ヶ月累計：18百万円  
 ・2019/2期第3四半期3ヶ月：▲6百万円、2020/2期第3四半期3ヶ月：6百万円

- 香港・中国では、前期の不採算店舗閉鎖の影響により減収
- 台湾では、ニコアンド・グローバルワーク・ローリーズファームが堅調
- 米国では、第3四半期3ヶ月間では減収なるも、累計では堅調を維持

## <海外事業>

海外事業の第3四半期は、7～9月の3ヶ月間となります。

当第3四半期の円ベースの売上高は、前年同期比79.1%となる32億円、  
 営業損失は▲1.8億円となりました。

香港・中国では、前期に進めた不採算店舗閉鎖の結果、売上高は前期比で減少しました。

台湾では、ニコアンド・グローバルワーク・ローリーズファームが堅調に推移しております。

米国では、卸事業の一部受注が第2四半期に前倒しとなったことなどから、  
 第3四半期3ヶ月間では減収となりましたが、累計では堅調を維持しております。

# 連結貸借対照表

(百万円)

	2018年11月末		2019年2月末		2019年11月末			
		構成比		構成比		構成比	2018年11月末比 増減額	2019年2月末比 増減額
流動資産	53,751	54.3%	48,050	52.7%	55,538	55.6%	+1,786	+7,487
現預金	11,425	11.5%	18,726	20.5%	15,698	15.7%	+4,272	▲3,028
棚卸資産	23,917	24.2%	17,592	19.3%	21,542	21.6%	▲2,374	+3,950
固定資産	45,179	45.7%	43,213	47.3%	44,375	44.4%	▲804	+1,161
有形固定資産	14,938	15.1%	13,440	14.7%	14,844	14.9%	▲94	+1,403
のれん	730	0.7%	648	0.7%	515	0.5%	▲214	▲132
投資その他資産	24,477	24.7%	23,882	26.2%	23,581	23.6%	▲896	▲301
総資産	98,931	100.0%	91,263	100.0%	99,913	100.0%	+981	+8,649
負債	46,647	47.2%	38,303	42.0%	42,565	42.6%	▲4,081	+4,261
有利子負債	5,615	5.7%	2,552	2.8%	0	0.0%	▲5,615	▲2,552
純資産	52,284	52.8%	52,959	58.0%	57,347	57.4%	+5,063	+4,387
自己株式	▲4,574	▲4.6%	▲4,575	▲5.0%	▲4,371	▲4.4%	+202	+203

\*当期において、企業会計基準第28号「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を適用したことにより、前期まで流動資産に含まれた繰延税金資産を固定資産の投資その他の資産の区分に、繰延税金負債は固定負債の区分に含む。なお、前年同期末及び前期末の数字も同じ基準を適用して変更

- **現預金** : ネットキャッシュは前年同期末比98億円の増加
- **棚卸資産** : 在庫量の最適化、及び香港・中国の店舗数減少により、前年同期末比90.1%
- **固定資産** : のれん及び投資有価証券などの減少により、前年同期末比8億円の減少  
期初にアジア子会社においてIFRS第16号を適用したことにより、使用権資産などを計上
- **負債** : 第3四半期に親会社貸付等により、外部借入金25億円を返済  
期初にアジア子会社においてIFRS第16号を適用したことにより、リース負債などを計上
- **純資産** : 純資産比率は57.4%、前年同期末比+4.6p

## <連結貸借対照表>

営業キャッシュフローの増加や有利子負債の減少により、  
2019年11月末のネットキャッシュは156億円、前年同期末比で98億円増加しました。

在庫量の最適化、及び香港・中国の店舗数の減少により、  
棚卸資産は連結ベースで前年同期末比90.1%の水準となりました。

固定資産は、のれん及び投資有価証券などの減少により、前年同期末比8億円減少しました。

負債は、第3四半期に親会社貸付等により、外部借入金25億円を返済しました。

純資産は573億円、純資産比率は57.4%と前年同期末比+4.6Pとなりました。



# 店舗数

	2019/2期	2020/2期 3Q累計実績			
	期末 店舗数	出店等	変更	退店	期末店舗数
グローバルワーク	213	3	0	▲ 3	213
ニコアンド	139	8	0	▲ 2	145
ローリーズファーム	139	0	0	▲ 2	137
スタディオクリップ	190	3	0	▲ 3	190
レプシム	132	2	0	▲ 2	132
ジーナシス	73	0	0	0	73
ベイフロー	49	7	0	▲ 2	54
レイジブルー	58	0	0	▲ 3	55
その他	269	6	0	▲ 13	262
アダストリア合計	1,262	29	0	▲ 30	1,261
(うちWEBストア)	(52)	(7)	(0)	(▲7)	(52)
国内子会社合計 *1	80	10	0	▲ 3	87
(うちWEBストア)	(14)	(4)	(0)	(▲1)	(17)
国内合計	1,342	39	0	▲ 33	1,348
(うちWEBストア)	(66)	(11)	(0)	(▲8)	(69)
香港	20	0	0	▲ 4	16
中国	10	0	0	▲ 9	1
台湾	34	4	0	▲ 3	35
韓国	12	1	0	0	13
米国	9	0	0	0	9
海外合計	85	5	0	▲ 16	74
(うちWEBストア)	(13)	(3)	(0)	(▲2)	(14)
連結合計	1,427	44	0	▲ 49	1,422
(うちWEBストア)	(79)	(14)	(0)	(▲10)	(83)

\*1：(株)BUZZWIT (旧(株)アリシア)・(株)エレメントルール・(株)ADASTRIA eat Creationsの合算

## <店舗数>

当第3四半期末の店舗数は、国内1,348店舗、海外74店舗、連結合計1,422店舗（うちWEBストア83店舗）です。

# 2020年2月期 通期連結業績予想

(百万円)

	2019/2期		2020/2期		
	実績	期初予想	2019年12月27日修正予想		
				構成比	前期比
売上高	222,664	225,000	223,000	100.0%	100.2%
営業利益	7,190	10,000	12,000	5.4%	166.9%
経常利益	7,345	10,000	12,000	5.4%	163.4%
純利益	3,890	6,000	6,500	2.9%	167.1%
ROE	7.5%	11.0%	11.8%	-	+4.3p
EBITDA	15,317	16,520	18,870	8.5%	123.2%
減価償却費	6,820	6,400	6,700	3.0%	98.2%
のれん償却費	1,306	120	170	0.1%	13.0%
設備投資	12,201	10,300	8,000		

- 通期業績予想は、売上高が期初予想をやや下回る一方、売上総利益率が改善したことや経費の抑制により、営業利益、経常利益、純利益が期初予想を上回る見通し

## <通期連結業績予想>

2020年2月期の業績予想の修正についてお知らせします。

通期連結業績予想は、中国の複合業態店舗「コレクトポイント」を全て退店したことなどにより、売上高が期初予想をやや下回る一方、売上総利益率が改善したことや経費の抑制により、営業利益、経常利益、純利益が期初予想を上回る見通しとなりました。

# アダストリア単体通期業績予想

(百万円)

	2019/2期	2020/2期		
	実績	期初予想	2019年12月27日予想	前期比
売上高	195,427	197,000	197,600	101.1%
(既存店前年比)	99.6%	101.3%	101.4%	
売上総利益	103,865	107,800	108,200	104.2%
売上総利益率	53.1%	54.7%	54.8%	+1.7p
販管費	96,423	98,300	96,900	100.5%
販管費率	49.3%	49.9%	49.0%	▲0.3p
営業利益	7,442	9,500	11,300	151.8%
営業利益率	3.8%	4.8%	5.7%	+1.9p

出店	66	45	35
退店	▲92	▲40	▲64
改装	28	20	28
期末店舗数	1,262	1,267	1,233

- **売上高：1,976億円**（前期比101.1%）
  - ・ 既存店売上高前年比：101.4%
- **売上総利益率：54.8%**（前期比+1.7p）
  - ・ 在庫量最適化による値引き率の低減
  - ・ 生産コストコントロールで値入率が改善
- **販管費率：49.0%**（前期比▲0.3p）
  - ・ 設備費、のれん償却費の減少がある一方、人件費が増加
- **出退店**
  - ・ 出店は市場環境も考慮しつつ慎重に判断

## <単体通期業績予想>

単体の通期予想につきましては、既存店売上高前年比は101.4%を見込んでおり、売上高は期初予想をやや上回っております。

## II. 營業報告

---



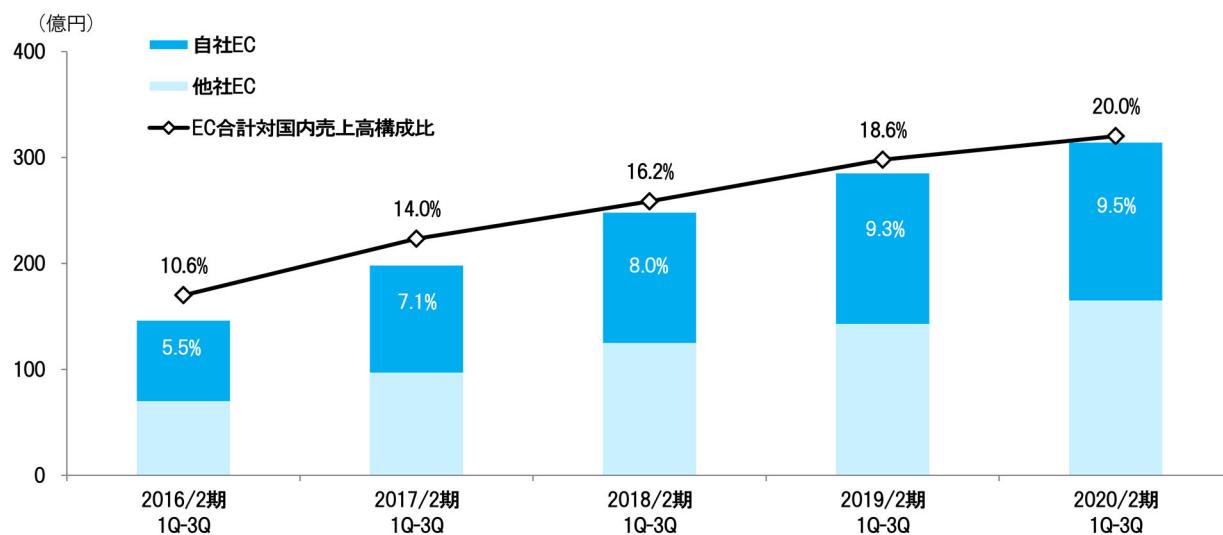
# WEB事業

## 単体の安定的な成長に加え、BUZZWITが好調

■ 2020年2月期（9ヶ月累計）国内EC売上高：314億円（前期比110.2%）

－ 対国内売上高構成比：20.0%（うち自社EC約9.5%）

－ 自社ECドットエステイ会員数：**1,000万人突破**（前期末比+130万人）



\*：2018/2期より、単体に加え、(株)アリシアを合算

\*：2019/2期より、単体・(株)アリシアに加え、(株)エレメントルールを合算。なお、2018年8月より、(株)アリシアは(株)BUZZWITに商号変更

### <WEB事業>

当第3四半期のWEB事業の国内売上高は314億円、前年同期比110.2%となりました。アダストリア単体の安定成長に加え、ネット専業ブランドを展開するBUZZWIT社が好調に推移しました。

国内売上高に占める比率は20.0%、うち9.5%が自社EC「ドットエステイ」による売上です。「ドットエステイ」につきましては、8月のシステム更改に際する不具合のため約一ヶ月間休止しておりましたが、9月12日にサイトを再開しております。

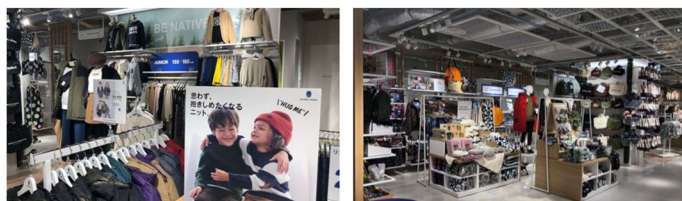
ドットエステイ会員数は1,000万人を超え、前期末比130万人増と引き続き増加しております。

# 国内事業 改装増床・大型店舗の出店

## GLOBAL WORK

### ■リンクスウメダ店 11/16(土)改装増床

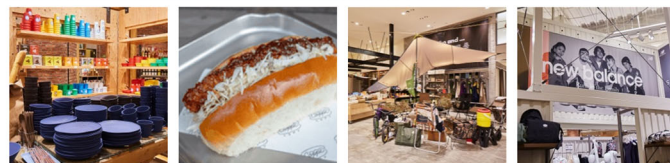
- 211坪の関西最大級店舗としてリニューアル
- 地元金物メーカーと協業し大阪文化を表現する独自の内装デザインを取り入れるなど、地域に根差した店舗づくりを行う



## niko and ...

### ■mozoワンダーシティ店 10/18(金)新規出店

- 609坪のグループ国内最大店舗
- “uni9ue senses”(衣,食,住,遊,知,健,音,旅,TOKYO)の9カテゴリーをフルラインアップ
- インショップで路面旗艦店同等の発信力を持つ



## <国内事業>

リアル店舗においては、当第3四半期に既存店舗の改装増床や、大型店舗の新規出店がございましたのでご紹介いたします。

グローバルワーク リンクスウメダ店は、面積211坪の関西最大級店舗として、11月16日にリニューアルいたしました。地元メーカーと協業した内装デザインや、地元観光施設とコラボレーションした販促活動など、地域に根差した店舗づくりを行っております。

ニコアンド mozoワンダーシティ店は、面積609坪の、グループ国内最大店舗です。ブランドが持つ商品カテゴリーをフルラインアップで展開するほか、多くの企業と協業したコーナー展開やイベントの実施など、インショップでありながら、路面旗艦店と同等の集客力・発信力を持つ店舗として、新しい出店の形のモデルケースとしていきたい考えです。

# 海外事業 niko and ... 上海旗艦店オープン

■12/21(土) 中国上海市・淮海中路にグループとして世界最大の旗艦店をオープン



14

ADASTRIA  
Play fashion!

## <海外事業>

海外事業につきましては、アジア事業の事業整理・再構築を進行中です。

直近の出来事ではございますが、  
12月21日に、中国事業再構築のスタートとなるニコアンドのグローバル旗艦店をオープンいたしましたので速報としてご紹介いたします。（12月は第4四半期）

niko and ... SHANGHAIは、中国上海市の中心地 淮海中路に位置する3階建てビルでグループとして世界最大の店舗となります。

1階、2階は物販、3階は「WHOLE 775」として、ステーキ、シーフード、ピザなどの食が集まるフードコートスタイルのレストランフロアとなっています。

オープンから1週間ほど経つ現在も、連日約3万人のお客さまにご来店いただいております。順調なスタートをきっております。

# サステナブル経営へのチャレンジ：環境負荷の低減

## ■衣料品回収プロジェクト「Play Cycle！」

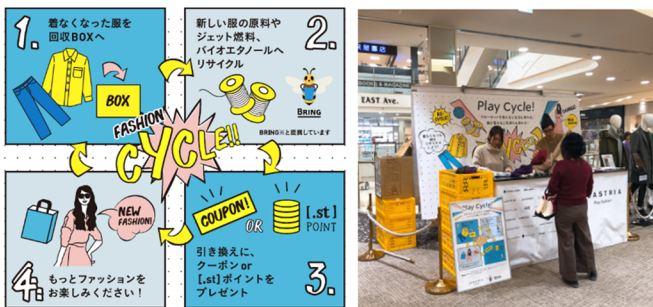
全国の出店先商業施設さまご協力のもと、お客さまのご不要な衣料品を回収し、新しい資源へとリサイクルする活動を実施

これまでの回収実績

2017年 4.2t 2018年 4.6t

2019年  
全国14都市で開催

回収目標  
**7.0t!!**

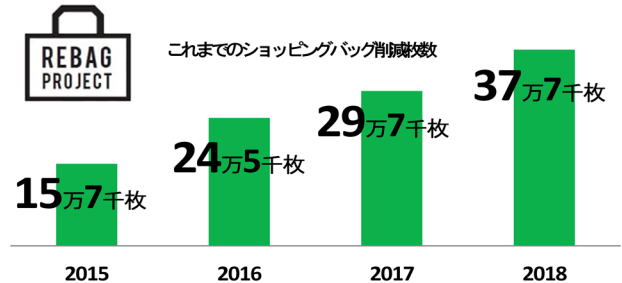


## ■マイバッグ利用促進「REBAG PROJECT」

お買い物時にショッピングバッグ不要のお客さまに「ドットエスティ」ポイントを還元

お客さまと一緒に取り組むエコ活動

(2014年よりグループ国内全店舗で通年実施)



ショッピングバッグの素材についても、ポリエステル使用素材から、再生紙を使用した紙袋へ順次変更中



ADASTRIA  
Play fashion!

## <サステナブル経営へのチャレンジ：環境負荷の低減>

当社における環境負荷低減活動をご紹介します。

衣料品回収プロジェクト「Play Cycle！」は、全国の出店先商業施設さまご協力のもと、お客さまのご不要な衣料品を回収し、新しい資源へとリサイクルする活動です。

今年で3年目となる本活動は、毎年回収量が増えており、特にこの第3四半期の3ヶ月間に多くの地域で開催いたしました。

また、マイバッグの利用を促進する「REBAG PROJECT」をグループ全店で実施しており、ショッピングバッグ不要のお客さまには自社ECドットエスティポイントを差し上げております。また、ショッピングバッグそのものの素材も、順次再生紙を使用した紙袋へ変更を進めています。

アダストリアグループでは今後も引き続き、お客さまや地域と一緒に取り組むサステナブルな事業活動に取り組んでまいります。



## 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## その他留意事項

資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は元データから算出しております。

**A D A S T R I A**

—

*Play fashion!*